



## 八峰町3月議会定例会

# 町長の行政報告をお知らせします

八峰町3月議会定例会が3月2日から3月17日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、当初予算、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

### 新型コロナウイルスワクチン接種事業の進捗状況等

町のワクチン接種事業は、峰栄館を会場とした集団接種を昨年5月で終了し、その後は町営診療所での休日、土曜日接種に切り替えて、現在まで月2回程度の頻度で行ってまいりました。65歳以上における対象者の1月末現在の接種率は、3回目接種が92・6パーセント、4回目接種が82・1パーセント、5回目接種が46・4パーセントとなっております。

また、県では、「コロナ後遺症」の診療を行う医療機関を公表したところであり、能代山本地域では、11の病院・診療所が受け入れることとしており、町営診療所においても呼吸器症状や精神症状に対し、診療を受け入れることとしております。

コロナ後遺症が疑われる場合は、一人で悩まず、まずは、かかりつけ医や身近な医療機関へ相談するよう周知に努めてまいります。

### 「コロナ禍における原油価格・物価高騰に関連する3つの給付金」の執行状況等

一つ目の「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」事業は、物価・賃金・生活総合対策として、国が、電力・ガス・食料品等の価格高騰によ

る負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり5万円を給付する事業であります。

給付率は、2月8日現在で98・4パーセントとなっております。

二つ目の、県の補助事業により実施した「エネルギー・食料品価格高騰対応緊急助成金」事業は、住民税非課税世帯を対象に、1世帯当たり1万5,000円を給付する事業であります。給付率は、2月8日現在で98・8パーセントとなっております。

三つ目の、町の独自事業として実施した「電力・ガス・食料品価格高騰対応特別給付金」事業については、このたびの光熱費の価格高騰が、非課税世帯のみならず町民全体の生活に影響を与えていることから、県の補助事業の対象とならない世帯に対し、1世帯当たり1万5,000円を給付する事業であります。給付率は、2月8日現在で97・4パーセントとなっております。

いずれの給付金についても、物価高騰の影響に対する生活支援として、出来るだけ多くの世帯に対して早期の支給に努めたところであります。

### 令和5年度産米の「生産の目安」

県では、県産米の価格と需要を安定させていくため、令和5年度産米にお

ても県の「生産の目安」を提示することとし、昨年11月25日に開催された、秋田県農業再生協議会臨時総会において、県全体の生産の目安を「38万9,700トン」とすることを決定し、公表・通知がされております。

この通知を受け、八峰町農業再生協議会では、町として算定した「生産の目安」を、今年1月20日に開催された臨時総会で協議し、町全体の生産数量を昨年と同数の5,598トン、面積換算では昨年より1ヘクタール多い973ヘクタールとする目安が決定されました。

協議会では、方針作成者ごとの「生産の目安」を算定し、1月31日付けで各方針作成者へ通知したところであります。今後は、供給過剰による価格の下落を防ぐため、引き続き、販売計画数量および事前契約数量の把握に努めるとともに、国や県と連携しながら加工用米等の非主食用米や大豆、高収益作物などへの作付転換を推進するための取り組みを進めてまいります。

また、農業再生協議会では、農事班長会議を開催し、町の「生産の目安」の算定方法などを説明するとともに、作付確認野帳等の関係資料を各農家に配布したところであります。

### サーモン養殖事業

八水株式会社実施するサーモン試験養殖事業については、昨年の2倍となる1,000尾の養殖を実施するため、新たな生簀を製作し、準備を進めてまいりました。

昨年12月27日には稚魚を生簀に投入し、4月下旬から5月中旬の水揚げを目指して、第2回目の養殖試験がスタートしております。

しかしながら、1月20日からの寒波で時化が続き、八水株式会社より、1月27日から30日までの間に約300尾のサーモンが衰弱死したとの報告を受け、この原因は、時化による海面の濁りが続き、それを避ける魚の習性から、逃げ場を探すうちに、網に体をぶつけ衰弱死したものと推測しております。

また2月13日時点では、425尾の衰弱死が報告されており、詳しい原因と対策については、県や八水株式会社等とともに調査分析を行い、今後の対応を検討してまいります。

一方、養殖しているサーモンの名称を、地元八森小学校全校児童に募集したところ、64名の応募があり、八水株式会社による審査の結果、3年生の吉田萌々羽さんによる「輝サーモン」が採用されました。

今後は、このネーミングで出荷されるパッケージや商品シール等に使用されることになり、町としても、この「輝

サーモン」が安定的に生産され、全国へ販売できるよう、引き続き支援してまいります。



### ジオパークの再認定審査結果

昨年の11月に2名の審査員を迎え、八峰白神ジオパークの再認定審査が実施され、12月16日に、日本ジオパーク委員会から「再認定」が決定したとの報告を受けたところであります。

後日発表された審査の総評では、「前回認定時の指摘事項について、「解決済み」か「ほぼ解決に向けて着手されている」ほか、運営体制の見直しやジオガイドの会の設立、各種検討委員会の設置など、新たな体制で積極的なジ

オパーク活動が行われていることが評価されております。

また、これからは、地球科学分野の専門員の不在、海域を含めた領域の拡大、ネットワーク活動への積極的な参加、ジオツーリズムの推進などに取り組むことが重要であることも指摘されております。

これまで、ジオパークの推進にあたり、関係者の皆様から多くのご支援、ご協力をいただいたことに対しまして、改めて感謝申し上げます。今後は、指摘された新たな課題の解決を図りながら、教育や防災を含めたジオパーク活動に取り組んでまいります。

### 図書・読書活動

昨年12月8日、「図書室の充実に向けて」の充実を期しながら読書活動を推進し、町民文化の向上に努めてまいります。

また、八峰町の読書活動は盛んで、昨年度1年間に貸し出された図書は、2万1,000冊を超えており、人口1人当たりの貸出冊数や蔵書数、購入費用では、県内でもトップレベルにあります。

町としましては、引き続き、図書室の充実を期しながら読書活動を推進し、町民文化の向上に努めてまいります。

### 3月議会定例会に提出した主な議案

- 専決処分の報告について
- 八峰町個人情報保護法施行条例制定について
- 八峰町情報公開・個人情報保護審査条例制定について
- 八峰町情報公開条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町の証明事務の窓口を農業協同組合に設置する条例を廃止する条例制定について
- 令和4年度八峰町一般会計補正予算9,082万1千円を増額
- 令和5年度八峰町一般会計および各特別会計予算

※内訳は2～3ページ参照